

附属図書館の Elaboration

前川ゼミA班

金田 亜美花

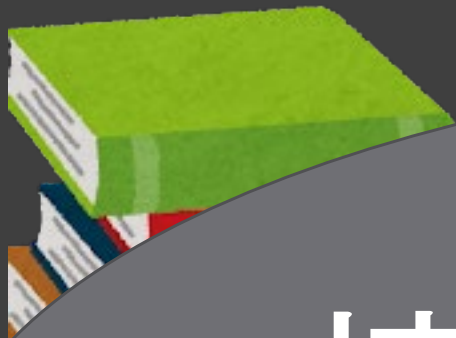
近藤 千織

増田 彩花

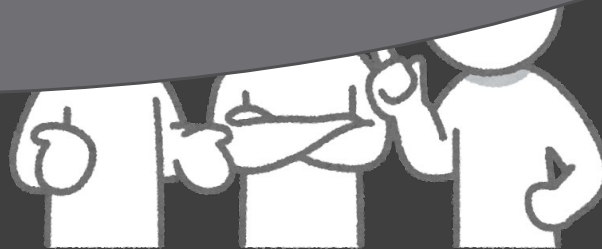
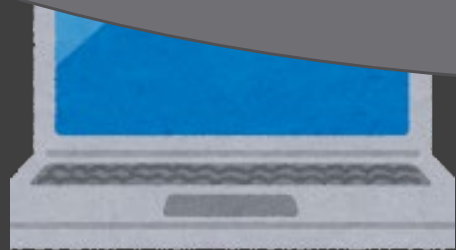
柳沢 拓海

渡辺 啓太

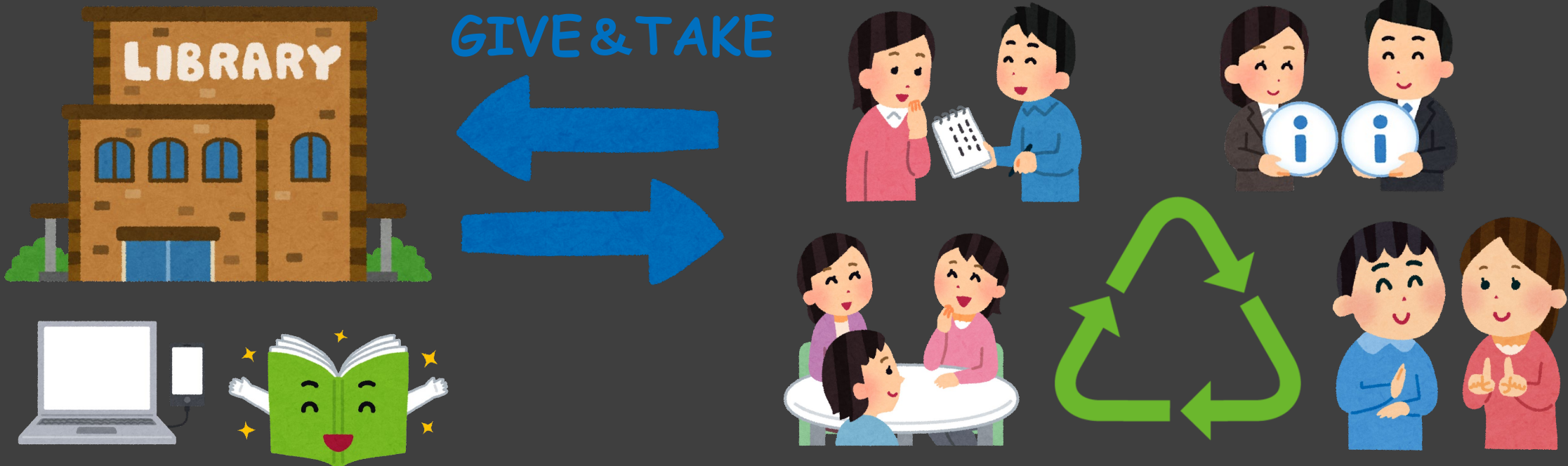
そもそも図書館とは？



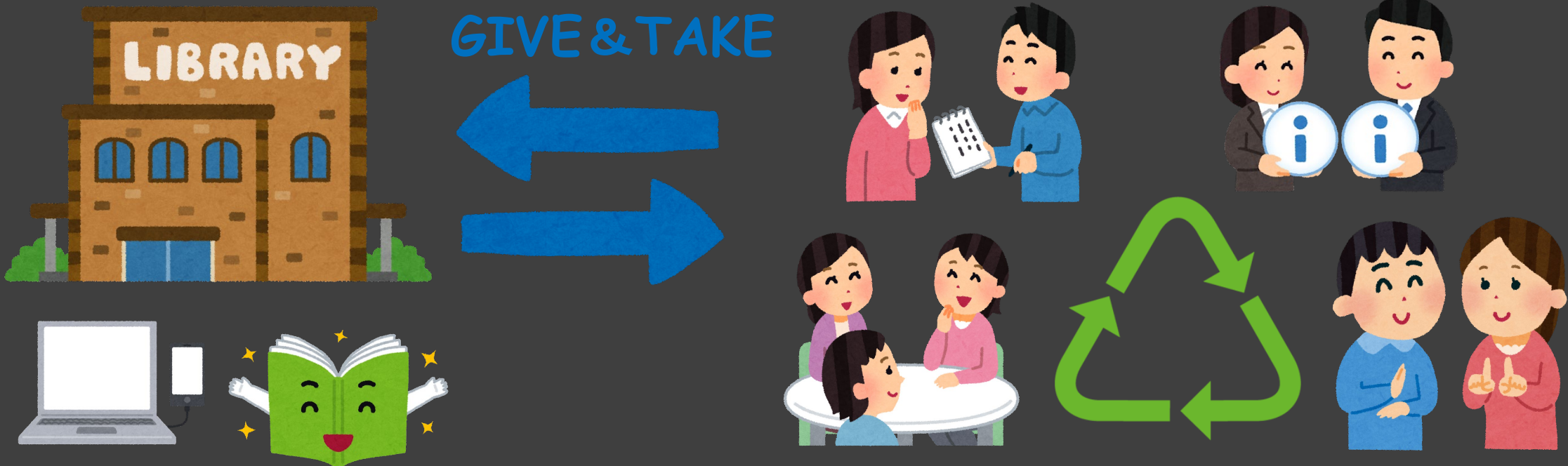
情報を得るための
場所



図書館という場で情報の共有ができ 新しいものを**生み出す**補助をする場



図書館という場で情報の共有ができ 新しいものを**生み出す**補助をする場



現状

新たな物を生み出す場になれていない

自習目的での利用者が多い

静かで暗い雰囲気

地域に開かれていない

課題とその背景

①入りにくい雰囲気

- →静かにすべきという固定観念

②情報の供給手段が本のみしかない

- →本を扱う場所という固定観念

課題とその背景

③検索機能が使いにくい

- → 検索機能の使いにくさに対する問題意識が低い

④図書館の機能が分かりづらい

- → 図書館が機能を知らせようとしていない

Elaborationの方向性

元来からの図書館を残しつつ、
新たな空間を作成する

本のさらなる活用



新たな空間の提供
(人々の交流)

具体策① 話しやすい空間を作る

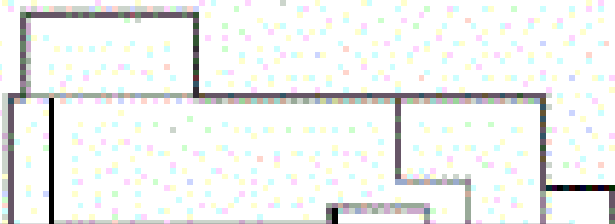
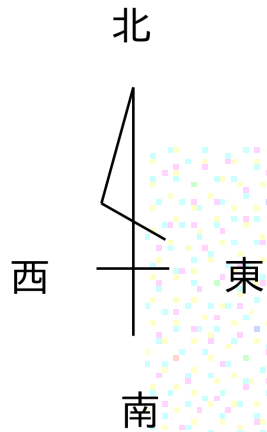
交流する人の為に

「グループワークスペース」を設ける。

しかし...

静かに自習したい人もいる

→それぞれにとって居心地のいい空間に分ける



- ・ 東側と西側でターゲットを分割
- ・ 本には防音効果あり
→ 本棚を上手く並べて学習する人が集中
& 活発なグループワーク
- ・ 地域資料は公文書館に寄贈

話しやすい空間を実現
↓
入りにくいという
課題①を解決

人との交流から情報を得る
↓
本でしか情報を得られないという課題②を解決

学習室
(現・地域資料室)

蔵書コーナー

グループワークスペース
(現・蔵書コーナー&閲覧スペース)

具体策② 検索機関の向上



司書の方にカウンターにいてもらう

or

司書を呼ぶベルの変更



司書の方との距離を縮めることで
質問などがしやすくなる



検索開始(S) 目次
・本の内容

- ・ 司書の方と話しやすい環境
- ・ 使いやすく見やすい検索ページ

↓
検索機能が使いにくいという
課題③を解決

カテゴリごとの分類

- 親しみのあるデザイン
- ・ 本の表紙の追加
 - ・ フォント変更
 - ・ 色見の変更

検索対象 | 非表示 チェック間の関係 AND
 すべて(蔵書あり) 図書
 和書 洋書

貸出ランキング対象 | 表示

検索開始(S) 新着資料から検索 横断
入力クリア(C) 最終条件へ戻す

検索語1 |
全ての項目

検索語2 | AND OR NOT(-引)

具体策③ オリエンテーションの実施

- ・ゼミ単位で司書の方による

図書館オリエンテーションの実施

- ・マスメ

図書館の機能の説明の実施



図書館の機能が分からないという
課題④を解決



ご清聴
ありがとうございました